

政策シート

政策名

05 斎場・墓園・墓地の整備推進

予算費目名

01 斎場費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策

02 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが変更されることに伴い、斎場での感染対策の見直しを行うとともに、送る方に安心感と安らぎを与え、悲しみを癒す雰囲気を持った斎場施設を推進する。
「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、浜松及び雄踏斎場再整備について事業者が事業者選定を進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	714,278	1,633,617	398,279	453,781	508,415	697,563
決算	702,572	1,626,021	383,304	444,572	466,005	
人件費(報酬等)(A)			5	99	51	7
人件費(人工分)(B)	21,000	21,000	26,600	26,600	26,600	26,600
年間経費(予算又は決算+A+B)	723,572	1,647,021	409,909	471,271	492,656	724,170

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

- ・新型コロナウイルスの5類移行後、斎場での感染対策見直しをした。
- ・火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、施設の改修・整備、及び雄踏斎場の周辺道路整備を実施した。
- ・2016年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、浜松及び雄踏斎場の事業者を決定。
- ・区再編にともなう浜松市火葬予約システムの改修を実施した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

- <進捗>計画通り
- ・新型コロナウイルスの5類移行後、来場者が増加する中においても滞りなく火葬業務が実施できた。
 - ・各斎場の火葬炉設備や斎場施設の改修・整備を行い、問題なく斎場を稼働できた。
 - ・斎場再整備事業(浜松斎場、雄踏斎場)のPFI事業者がスケジュール通り決定し、事業着手することができた。
 - ・区再編による火葬予約システム改修を実施し、滞りなく運用ができています。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	斎場運営事業	—	—		326,514	323,707	0.4				7
2	斎場施設整備事業	—	—		345,626	344,926	0.1				
3	斎場再編・整備事業	—	○		45,711	22,611	3.3				
4	(新規)区再編準備事業	—	—	○							
5	斎場デジタル運営経費	—	—		6,319	6,319					
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					724,170	697,563	3.8				7

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 02	政策 05	予算費目 01	所属コード 000605000	事業 01	(担当課) 市民生活課	(責任者) 大城 秀寛	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 01 斎場運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

遺体やペット類の火葬及び葬儀のための式場の貸出しを行っており、業務が一時停止することや中止することがないよう、火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、常に市民が安心して利用できる施設として運営維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1972	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例・浜松市佐久間・水窪霊きゅう自動車条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性	なし
----------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	241,316	244,573	280,796	292,928	292,947	323,707
	決算	230,955	239,603	271,843	284,858	285,174	
	国・県支出						
	市債						
	その他	43,021	41,769	44,122	43,308	42,400	42,596
	一般財源	187,934	197,834	227,721	241,550	242,774	281,111
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)				5	4	5	7
人件費(人工分)(B)		3,500	3,500	3,500	2,800	2,800	2,800
人工	正規	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		234,455	243,103	275,348	287,662	287,979	326,514

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	02	05	01	000605000	01	市民生活課	大城 秀寛	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

市内斎場以下7斎場の施設の維持管理運営を行った。

- ・浜松斎場運営事業
- ・浜北斎場運営事業
- ・天竜斎場運営事業
- ・雄踏斎場運営事業
- ・三ヶ日斎場運営事業
- ・春野斎場運営事業
- ・佐久間・水窪斎場運営事業

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・全ての斎場で、新型コロナウイルスが感染症方法上の5類に移行され、斎場での感染対策の見直しを行い、斎場に来場する会葬者が増えたが、滞りなく火葬業務を実施することができた。
- ・浜松・浜北・雄踏斎場について、指定管理者による円滑な事業運営ができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・墓地、埋葬等に関する法律、感染症法改正による火葬や葬儀等の変化
- ・死亡者数の増加による市内火葬数の増加

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行され、斎場での感染対策の見直しを行った。
- ・定期的な
- ・火葬数の実績を踏まえ斎場の運営方法を検討し、令和6年4月1日から天竜斎場と春野斎場の予約枠数の縮小を決定した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・各斎場の利用件数を考慮しながら、天竜、三ヶ日、春野、佐久間・水窪斎場の運営内容の検討をする。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

市内斎場以下7斎場の施設の維持管理運営を行う。

指定管理者による管理: 浜松斎場、浜北斎場、雄踏斎場

市直営(火葬業務委託): 上記以外の斎場

- ・浜松斎場運営事業
斎場棟を解体に伴い、臨時待合棟、臨時駐車場及び火葬棟の運営を開始する。
- ・浜北斎場運営事業
待合室カーテン取替修繕を行う。
- ・天竜斎場運営事業
- ・雄踏斎場運営事業
隣接地に増設棟建設開始に伴う駐車場の位置を変更する。
- ・三ヶ日斎場運営事業
- ・春野斎場運営事業
火葬業務委託を他火葬件数による単価契約に変更し運営する。
- ・佐久間・水窪斎場運営事業

事業シート

(事業名) 02 斎場施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

遺体やペット類の火葬及び葬儀のための式場の貸出しを行っており、業務が一時停止することや中止することがないよう、火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、常に市民が安心して利用できる施設として運営維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1972	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性	なし							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	78,531	143,518	79,797	98,107	174,318	344,926
	決算	77,784	141,230	77,324	97,666	140,585	
	国・県支出						
	市債						168,600
	その他	58,000	114,000	64,000		12,000	128,000
	一般財源	19,784	27,230	13,324	97,666	128,585	48,326
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)					700	700	700
人工	正規				0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		77,784	141,230	77,324	98,366	141,285	345,626

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	02	05	01	000605000	02	市民生活課	大城 秀寛	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

各斎場の施設等の改修・整備を行った。

- ・浜松斎場火葬炉設備修繕工事
- ・浜松斎場電話設備修繕工事
- ・浜北斎場火葬炉設備修繕工事
- ・浜北斎場トイレ排水管修繕工事
- ・天竜斎場火葬炉設備修繕工事
- ・雄踏斎場火葬を設備修繕工事
- ・雄踏斎場消防設備修繕工事
- ・市道小山山崎線道路改良工事
- ・市道雄踏西ヶ崎パーク線整備修正設計業務
- ・三ヶ日斎場火葬炉設備修繕工事

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・各斎場の火葬炉設備や斎場施設の改修・整備を行い、問題なく斎場を稼働できた。
- ・雄踏斎場周辺の道路整備や設計業務を行い、雄踏斎場周辺の道路環境が改善した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・墓地、埋葬等に関する法律、感染症法改正による火葬や葬儀等の変化
- ・死亡者数の増加による市内火葬数の増加

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、施設の改修・整備を行った。
- ・市道小山山崎線道路改良工事を行った。
- ・雄踏斎場内の障がい者専用駐車場の整備を行った。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・今後の火葬体数の増加や施設の老朽化などの課題に対応し、中長期的に安定した施設運営ができるよう必要な各斎場の炉の改修、整備を行う。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

各斎場の施設等の改修・整備を行う。

- ・浜松斎場火葬炉設備修繕工事
- ・浜北斎場火葬炉設備修繕工事
- ・浜北斎場旧館屋根防水改修工事の設計業務。
- ・浜北斎場旧館雨漏り改修工事。
- ・雄踏斎場火葬炉設備修繕工事
- ・雄踏斎場既存棟法面对策検討業務。
- ・雄踏西ヶ崎パーク線歩道整備関連業務。
- ・雄踏斎場中央監視装置更新工事。
- ・雄踏斎場昇降機更新工事。
- ・雄踏斎場東側法面整備工事。

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 02	政策 05	予算費目 01	所属コード 000605000	事業 03	(担当課) 市民生活課	(責任者) 大城 秀寛	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 03 斎場再編・整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

将来の火葬体数の増加や斎場施設の老朽化への対応及び公共資産の適正保有の観点から、「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、斎場施設の拡張整備等を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2014	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性	なし								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	394,431	1,245,526	33,974	59,225	37,339	22,611
	決算	393,833	1,245,188	30,639	58,547	36,531	
	国・県支出						
	市債						
	その他		1,175,700				
	一般財源	393,833	69,488	30,639	58,547	36,531	22,611
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)					95	46	
人件費(人工分)(B)		17,500	17,500	23,100	23,100	23,100	23,100
人工	正規	2.5	2.5	3.3	3.3	3.3	3.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		411,333	1,262,688	53,739	81,742	59,677	45,711

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜松斎場再整備		目標	調査等	調査等	都市計画決定等	仕様検討等	事業者選定等	設計・建設工事
		実績	調査等	調査等	都市計画決定等	選定基準決定	事業者選定	
浜北斎場拡張整備		目標	設計・建設工事等	建設工事	供用開始	整備済み		
		実績	建設工事	建設工事	供用開始	整備済み		
雄踏斎場再整備		目標	調査等	調査等	都市計画決定等	仕様検討等	事業者選定等	設計・建設工事
		実績	調査等	調査等	都市計画決定等	選定基準決定	事業者選定	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	02	05	01	000605000	03	市民生活課	大城 秀寛	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

2016年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、浜松及び雄踏斎場の事業者を選定した。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- ・2016年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、斎場の整備に必要な手続きを行った。
- ・浜松・雄踏斎場再整備にかかるPFI事業者を選定した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

物価上昇による今後のコスト増大の可能性。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 拡大

- ・浜松及び雄踏斎場の再編事業については、必要な手続きを行うとともに、関係自治会などへの説明会や意見交換をに行い、住民意見の収集・分析など継続して行った。
- ・附属機関であるPFI等審査委員会で、事業者を選定し、2月議会で事業契約を締結した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 収集・分析 / 事業費 拡大 人工 拡大

- ・「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、浜松及び雄踏斎場再整備を行う。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

浜松市斎場再整備事業(PFI事業)による浜松斎場、雄踏斎場の再整備を行う。

浜松市再整備事業のモニタリングを実施する。

浜松斎場の臨時待合棟運営に係る整備を実施する。

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 02	政策 05	予算費目 01	所属コード 000605000	事業 04	(担当課) 市民生活課	(責任者) 大城 秀寛	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 04 (新規)区再編準備事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

区再編に対応するため、浜松市火葬予約システムを改修するもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2023	2023	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性	なし								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算					208	
	決算					203	
	国・県支出						
	市債						
	その他					203	
	一般財源						
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)						203	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

区再編に対応するため、以下の手順で浜松市火葬予約システムを改修した。

- ・2023年11月 区再編に関する修正箇所の確認
- ・2023年12月 区再編に関するプログラムの修正、ユーザー検証及びリリース
- ・2024年1月 区再編、システム改修内容確認
- ・2024年2月 システム改修内容確認

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

区再編に対応するためのシステム改修を行い、問題なく稼働している。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
特になし。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

事業シート (事業名) 05 斎場デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・斎場費のデジタル関連事業に関する経費
・火葬予約にあたり、インターネットによる浜松市火葬予約システムを運用し予約を管理し、同時に火葬台帳の作成及び保管を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性	なし
----------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			3,712	3,521	3,603	6,319
	決算			3,498	3,501	3,512	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源			3,498	3,501	3,512	6,319
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				3,498	3,501	3,512	6,319

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	02	05	01	000605000	05	市民生活課	大城 秀寛	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・火葬予約システムを運用し、斎場の予約管理、火葬台帳の作成、保管をした。
- ・新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ(2類相当から5類へ)の変更による予約方法の変更に関する設定変更を行った。
- ・令和6年4月1日から天竜斎場及び春野斎場の予約枠を縮小となったため、関連する予約枠の設定変更を行った。



5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- ・火葬予約システムを大きなトラブルなく運用し、予約管理及び台帳管理を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・墓地、埋葬等に関する法律、感染症法改正による火葬や葬儀等の変化
- ・死亡者数の増加による市内火葬数の増加



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 ICT化 / 事業費 現状 人工 現状

- ・火葬予約システム運用していく中で、火葬数の実績を踏まえ斎場の運営方法を検討し、令和6年4月1日から天竜斎場と春野斎場の予約枠数の縮小を決定し、システムで対応した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・浜松市斎場再整備事業に伴い、両斎場の供用開始までに、再編対応のための火葬予約システムの改修を行う。
- ・法改正があった場合に、火葬予約システムの改修が必要な場合は改修を行う。



7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・火葬予約システムを継続して運用する。
- ・火葬予約システムの担当者(各斎場担当)間で協議を行い、より良いシステム運用を検討する。
- ・浜松斎場臨時待合棟運営開始による火葬枠数の変更を検討し対応する。
- ・浜松市斎場再整備事業のより配備される、運営支援システムと浜松市火葬予約システムとのデータ連携等の検討をする。
- ・遺族遺体部の歯牙鑑定機を購入し、有事の際に使用できるようにする。

政策シート

政策名
05 斎場・墓園・墓地の整備推進

予算費目名
02 墓園費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野
03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策
02 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

墓園・墓地等を適正に維持管理するとともに、周辺環境や景観に配慮した墓地を市民の墓地需要を踏まえ対応することで、市民に安心感と良好な墓地環境を提供する。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	181,132	160,159	151,199	154,452	73,268	156,109
決算	151,878	159,300	125,266	149,686	72,500	
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	18,900	18,900	18,900	18,900	18,900	18,900
年間経費(予算又は決算+A+B)	170,778	178,200	144,166	168,586	91,400	175,009

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
天竜区船明地区墓地の整備済墓所区画数	区画	目標	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628
		実績	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

- ・市営2墓園、5墓地を指定管理者制度により維持管理運営を行った。
- ・納骨堂を指定管理者制度により維持管理運営、焼骨収蔵受付及び収蔵等を行った。
- ・2020年度に改葬及び整備を完了した三方原墓園いろは地区所有者不明墓所区画と市営墓所の前年返還区画について、再貸付を行った。
- ・中沢墓園の擁壁について施設点検を実施した。
- ・市営墓園及び市営墓地の支障木の樹木管理(伐採)工事及び不具合箇所の修繕工事を行った。
- ・三方原墓園の根北・中・6地区のバリアフリー等の改修工事のための設計を行った。
- ・地域からの要望を受け共同墓地の隣地支障木伐採及び施設維持等工事を行った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・指定管理者のもと、墓園・墓地等を適正に維持管理運営することができている。 ・船明墓地については、整備済区画数で現時点での墓地需要を満たしていることから、未整備区画(第4期5期)については、整備方針の見直しが必要。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	墓園等整備・管理事業	—	—		175,009	156,109	2.7				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					175,009	156,109	2.7				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 02	政策 05	予算費目 02	所属コード 000605000	事業 01	(担当課) 市民生活課	(責任者) 大城 秀寛	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 01 墓園等整備・管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

墓園・墓地等を適正に維持管理するとともに、周辺環境や景観に配慮した墓地を市民の墓地需要を踏まえ対応することで、市民に安心感と良好な居住環境を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1982	-	一般会計	自治事務(その他)	墓地、埋葬等に関する法律、墓園・墓地条例、納骨堂条例等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性	なし
----------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	181,132	160,159	151,199	154,452	73,268	156,109
	決算	151,878	159,300	125,266	149,686	72,500	
	国・県支出						
	市債						64,800
	その他	157,579	111,694	111,678	116,542	72,500	91,309
	一般財源	-5,701	47,606	13,588	33,144		
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		18,900	18,900	18,900	18,900	18,900	18,900
人工	正規	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		170,778	178,200	144,166	168,586	91,400	175,009

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
天竜区船明地区墓地の整備済墓所区画数		目標	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628
		実績	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	02	05	02	000605000	01	市民生活課	大城 秀寛	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・市営2墓園、5墓地を指定管理者制度により維持管理運営を行った。
- ・納骨堂を指定管理者制度により維持管理運営、焼骨収蔵受付及び収蔵等を行った。
- ・2020年度に改葬及び整備を完了した三方原墓園いろは地区所有者不明墓所区画と市営墓所の前年返還区画について、再貸付を行った。
- ・中沢墓園の擁壁について施設点検を実施した。
- ・市営墓園及び市営墓地の支障木の樹木管理(伐採)工事及び不具合箇所 の修繕工事を行った。
- ・三方原墓園の根北・中・6地区のバリアフリー等の改修工事のための設計を行った。
- ・地域からの要望を受け共同墓地の隣地支障木伐採及び施設維持等工事を行った。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- ・指定管理者のもと、墓園・墓地等を適正に維持管理運営することができている。
- ・共同墓地1箇所の支障木伐採を行い、地域の要望に応えることができた。
- ・三方原墓園根いろは地区の再整備区画と前年度返還区画について予定通り再貸付を行うことができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・民間墓地の開設や墓じまいの傾向など、市民のお墓に対する需要動向の変化等。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・船明墓地の未整備区画(4,5期)や納骨堂の増設の必要性について、既存区画の貸付状況や納骨堂の需要、民間墓地の整備状況等を踏まえ、今後の整備方針を検討する。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 その他 / 事業費 現状 人工 現状

- ・船明墓地の未整備区画(4,5期)について、墓地以外の利活用検討のため庁内の関連する部署と協議調整を図る。
- ・納骨堂の利用状況や民間墓所の整備状況等を踏まえ納骨堂の増築等の検討を行う。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・市営2墓園、5墓地を指定管理者制度により維持管理運営 樹木管理工事等の施設維持
- ・納骨堂を指定管理者制度により維持管理運営 焼骨収蔵受付及び収蔵
- ・船明墓地未整備区画(4,5期)の見直しや納骨堂増設の検討。

【参考: 船明墓地のこれまでの整備状況】

2011年度から段階的(第1期～第5期)に整備を行い、2013年度までに第三期整備まで終了。

総区画予定数 5,799区画(うち整備済み2,628区画)